

地域おこし協力隊を紹介します

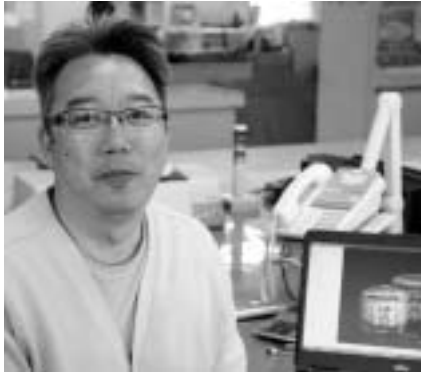
地域おこし協力隊とは・・・

人口減少や高齢化等の進行が著しい地域において、地域外の人材を積極的に誘致し、地域力の維持・強化を図ることを目的に、21年度から総務省が新設した制度です。町では、現在3人の地域おこし協力隊員が、さまざまな地域協力活動に従事しています。

3人の地域おこし協力隊を紹介します

いわき 岩城 史幸 (48歳)

旭川市出身



都市住民との移住・交流や地域資源（観光・特産品）の発掘・活用、各種団体の活動支援な

どの業務に従事しています。

昨年は、農業・漁業・観光業などの後継者対策として「積丹満喫ツアー」の実施や、明治24年に余別町白方酒造店で誕生した銘酒「神威鶴」の普及啓発活動などを行いました。

活動に対する思い

『平成21年11月から役場企画課で地域おこし協力隊として勤務させていた、だいています。町内の団体や個人の方でも、ご依頼があれば、集客プランや販売促進などの枠の中でお手伝いさせていた、だいています。』

赴任して約1年半が経った今でも驚かされるのは、積丹町に隠れている地域資源の潜在能力の高さです。

今まで、様々な町や村の地域振興や企業の販売促進に関するお手伝いを仕掛けと宣伝という視点でさせていた、だきました。積丹町がもっている多くの地域資源は、全国でも屈指の質の高さであると確信しています。

ぜひ、皆さんには、このことを自覚して自信にしていた、だ

たいと心から思います。これからもよろしくお願いいたします。』

あべ 阿部

なむら 剛 (30歳)

札幌市出身



郷土資料の調査・研究などの業務に従事しています。

昨年度は、町内数力所に散在していた郷土資料を旧幌武意小学校へ搬入し、作業環境も整いました。今年度以降、本格的な整理・修復等を行ないます。

活動に対する思い

『平成22年7月より、教育委員会生涯学習課にて郷土資料整理作業に従事しています。』

旧幌武意小学校に集められた漁具・農具・生活用具等は、近

隣町村の郷土資料館にも引けを取らない幅広さを持つていると感じています。その整理を進めるとともに、学校教育や生涯学習等での活用方法を検討いたします。

少子高齢化の時代、将来に渡って地域が持続していくためには、その歴史を再確認し、先人の歩んだ道を追体験することが必要です。郷土資料整理作業を通じ、町民の方々が、郷土に対する誇りや愛着を深める機会を創り出せるよう、努めてまいります。』

かわむら 河村

ひろし 博 (61歳)

札幌市出身



積丹川や余別川の保護水面の

保全・管理を始め、流域の森・川・海に関わる環境生態系の保全の普及活動、調査・研究及び指導などの業務に従事しています。

5月24日には、東しゃこたん漁業協同組合が行う美国川へのサクラマス稚魚の放流活動に参加しました。

活動に対する思い

『5月から地域おこし協力隊の環境生態系保全技術指導員として、札幌市から余別町に移住しました。保護水面の余別川と積丹川で森と川と海のつながりに関する課題を取り上げ、町民の皆さんと考え行動するなかで、積丹町の豊かな海と山そして川の環境から生み出される資源を上手に活用して、地域の振興と人づくりに結び付けたいと考えているところです。さらにさけますの増殖研究にも取り組んでいきたいと考えています。』

これからも

地域おこし協力隊は、これからも町民の皆さんと共に考え、共に協力しながら地域活動に取り組みます。

東北地方太平洋沖地震 災害義援金

2,484,313円

皆様のご協力ありがとうございました。

積丹町東北地方太平洋沖地震義援金募集委員会

皆さんからの義援金は、日本赤十字社を通じて被災地へ届けられます

積丹町東北地方太平洋沖地震義援金募集委員会（福井貞吉委員長）は、4月27日までに、町内の個人・団体から寄せられた義援金、248万4,313円を、翌日28日に日本赤十字社北海道支部（札幌市）に届けました。 ※町義援金募集委員会は、9月30日まで募金活動を行います。

義援金供託者一覧

（敬称略順不同）

○町内会募集分

（1,043件）

内訳	176万8,297円
小泊・厚苦町内会	6万2千円
寺町自治会	9万1,500円
柳町会	1万円
浜町親睦会	6万3千円
茶津町内会	5万4千円
山岸町内会	8万7,976円
西仲町内会	4万円
中央町会	3万円
東浦町内会	4万8千円
西浦町内会	3万円

栄町町内会 15万500円

多茂木町内会 15万円

川上自治会 2万円

婦美町自治会 7万8千円

幌武意町内会 2万5千円

入舸自治会 10万円

日司町自治会 12万円

野塚町内会 20万8,500円

西河自治会 2万8千円

来岸町自治会 3万8,300円

余別自治会 21万5,021円

神岬自治会 5万7千円

丸山町自治会 2万1,500円

常盤自治会 4万円

○一般寄託者（3件）

小向 由美子 300円

鈴木 キミエ 2千円

匿名希望 3千円

○各種団体・企業（38件）

積丹町議会議員会 10万円

銀杏乃会一同 2万円

野塚婦人会 1万円

美国婦人会 2万円

美国陶芸サークル 1万2千円

入舸郵便局 3千円

入舸婦人会 1万円

日司主婦会 1万円

日司大漁地蔵尊 1万円

美国宝寿会 5千円

余別婦人会 5千円

積丹旅館組合 1万円

積丹町日赤余別地区奉仕団

神岬婦人会 2万円

積丹町民生委員協議会 3万円

野塚悠ゆう会 3万5,104円

積丹町老人クラブ連合会

入舸老人クラブ 5千円

應現寺 1万円

幌武意老人クラブ 2千円

積丹町社会福祉協議会 2万円

積丹飲食店組合 1万円

積丹町商工会 1万円

野塚郵便局 5千円

余別地区婦人防火クラブ 1万5,660円

自治労積丹町職員労働組合 5万円

積丹町立びくに保育所父母会 1万6千円

積丹町役場職員福利厚生会 11万3,952円

藤田建築業 1万円

有佐々木建設 1万円

有北函工業 5千円

有林水道設備 3万円

有積丹町観光振興公社 1万円

有本間食料品店 1万円

有三上商店 3万円

有本間呉服店 3千円

広がる

被災地への支援活動

○美国中学校生徒会

美国中学校生徒会は、4月20日から4月27日まで募金活動を行いました。総額2万5,868円は、5月6日に日本赤十字社に送金しました。

○町観光協会外5団体

積丹観光協会・美国旅館組合・積丹旅館組合・美国商店連盟ボイント会・有積丹町観光振興公社・積丹飲食店組合は、3月22日から町内80箇所に被災地支援のための募金箱を設置し、6月30日まで募金活動を行います。

○積丹町

町は、日本赤十字社北海道支部、社団法人北海道観光振興機構、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団を通じて、4月28日に総額110万円の義援金を送金しました。



▲福井委員長（左） 菊谷副委員長（左から2番目）